熊歯会報

Kumashi Kaihou

2012
3
March
No.671

熊本県歯科医師会

熊歯会報 3月号

2012

歯科医師の倫理綱領

われわれ歯科医師は、日頃より歯科医学および歯科医療の研鑽を通じて培った知識や技術をもって、人々の健康の回復と疾病の予防のために貢献するものである。

一、専門職として歯科医学と歯科医療の発展のために尽くし、医療倫理の実践に務める。

一、専門職であることを念頭に、法を遵守し適切な説明を行い、常に愛情を持って患者のために社会的使命を果たすように努める。

一、自己の知識、技術、経験を社会のために提供し、社会福祉および国民の健康向上のために努める。

社団法人　日本歯科医師会

―表紙に寄せて―

熊本城マラソンの1枚です。これだけの人が道路にあふれる光景は、めったにみられるものではありません。（M.M）

巻頭言（理事　冨屋　栄祐）…… 3

理事会 …… 4・5

第一回 熊本城マラソン …… 6～9

委員会だより
（センター・介護、学術）…… 10～12

学院だより …… 13～15

第一回 会員親睦マージャン大会 …… 16

郡市会だより …… 17～21
（山鹿、菊地、水俣・芦北、人吉、玉名、阿蘇、球磨、荒尾）

グルメハンター …… 22

本の紹介 …… 23

会務報告 …… 24・25

歯科医師としての倫理観

噴煙

理事　冨屋　栄祐

私たちは、歯学生としてそれぞれの大学に在学していた頃、何を考えて毎日を過ごしていたのでしょうか。思い返してみれば、その当時は、将来優秀な歯科医師となり地域医療に貢献しようとか、歯科医療の発展に寄与するのだとか言ったことは一切考えることもなく、ただ毎日を目立たず大過なく平凡に過ごしていた気がします。何とか卒業まで漕ぎつけ歯科医師免許を取得し、歯科医師になろうと漠然と考えていたようにも思います。

６年生、学生としての最上級生となり、部活では神様の領域の人間となりさらに卒試、国試を経て晴れて歯科医師、先生と呼ばれる身となった訳です。しかし、そこに待ち受けていたのは、大学の医局における最下層の生活、入局一年目のペーペーであるという現実でありました。周囲の看護師、衛生士達は「先生、先生」とは言ってくれる訳ですが、私にはどう聞いても「おい新米」「おいお前」としか聞こえない日々を経験致しました。しかしその事が、私の社会における自分の立ち位置を見誤らないスタンスを作り上げてくれたと、本当に感謝しております。

開業以来24年に成りますが、そんな経験など足元にも及ばない様な先輩方が、歯科医師会には星の数ほどおいでになり、私の臨床上の経験あるいは社会人としての経験など赤子に等しいと思える毎日を未だに過ごしております。

私が、医療事故・苦情処理の担当理事を拝命し約1年が過ぎました。日々様々な患者さんの相談に接するたびに未だ至らない私に成長する為の糧を頂いているのだという気持ちがしだいに強くなりました。また、同じ委員会の中で、職務をこなしておられる委員の先生方の姿を見るにつけても、同様な感想持たざるを得ません。普通ではなかなかできない勉強をさせて頂いていると感謝申し上げます。

この様な環境の中で会務の一端を担わせて頂ける事を感謝致しますとともに、私が当理事職にあります間は、自らの職責を誠実に全うしようとなさっておられる会員の先生方に対しましては、微力ではございますが私ども委員会の総力を結集し、先生方のお立場をお守り致します事をお約束させて頂きます。逆に、歯科医師としての倫理を忘れ自分の利益のみを追求するあまり、患者さんや他の歯科医師会会員の立場を危うくするような診療を続ける歯科医師に対しましては、誠実な診療をなさっている先生方のためにも断固とした態度で臨む所存であります事を付け加えさせて頂きます。

我々、医療対策委員会は会員の先生方のためまた来院される患者さんに安心で安全な医療を提供するためにも、常に会員の先生方の身近に寄り添っていく委員会であります。ぜひこの事を御理解いただき、何かの時には即、ご連絡を頂きますようにお願いを申し上げます。

理事会報告

通常代議員会に向けて

― 第12回理事会 ―

２月22日（水）午後７時より県歯会館第１会議室おいて浦田会長ほか田上理事を除く全役員、久々山代議員会議長、荒木副議長出席のもと議長を浦田会長、議事録署名人を加藤、松本理事として第12回理事会が開催された。

開　会：宮坂副会長
挨　拶：浦田会長

本日は代議員会議長・副議長にご出席いただき、３月開催の代議員会・総会の最終的な審議を行う重要な場でありますので、よろしくお願いいたします。代議員会・総会では24年度の事業計画と予算を議案として提出いたしますが、役員の先生方に23年度の事業を振り返っていただき、いろいろと検討のうえ作成していただきました。私たち執行部は次年度に向けまして、より高い所を目指して頑張っていかなければいけません。ある本に書いてありましたが、‘人がいろいろと考えることを理想という。理想がその人間に照らして実現性に乏しい場合は空想という。その人間に実力があれば空想にあらずして理想になる。すなわち理想を持つということは人間生命の必然の作用であり、その理想をいかに空想に駄さしめざるかが人間修行の一番大事な点である。’要するに理想を持っても、実力がなければそれは空想で終ってしまうということです。したがいまして、先生方には実力を高め、より高い理想を持ちその理想を実現していくことを、来年度に向けてお願いしたいと思います。

会務報告：（自：１月23日～至：２月19日）

本会総務：理事会、常務理事会、学齢期歯科保健研修会、公益法人制度改革説明会・意見交換会、事業会計・監査、九州歯科医学大会実行委員会、健康スポーツ歯科全国指導者講習会、「歯科口腔保健の推進に関する法律」成立式典及び国民向けシンポジウム、九地連協議会
学　　術：県歯科医学大会、学術・社保・センター介護合同訪問歯科講演会
社会保険：レセプト事前チェックセンター
地域保健：各郡市地域保健担当者会
広　　報：会報編集・校正、熊本城マラソン取材・原稿依頼
学校歯科：各地域学校歯科担当者並びに歯科衛生士会、県行政との連絡協議会、skype会議、熊本小児保健研究会

医療対策：医療相談苦情事例報告
センター・介護：障がい児（者）歯科口腔ケア地域リーダー育成事業打合せ
総務・厚生：代診派遣制度
学　　院：一般一次・社会人入試
国保組合：通常組合会
以上、各担当役員より報告がなされた。

会務報告その２：

１．会長報告
・２月11日（土）に東京で開催された「歯科口腔保健の推進に関する法律」成立式典及び国民向けシンポジウムにおいて、デンソー健康保険組合が歯科・医科医療費の相関分析と題して講演を行い、歯科健診が医療費の削減に寄与している旨の話が行われた。
・日歯より、歯科医師から見えてきた社会の在り方を問う３冊の書籍が刊行されることになった。

２．関係機関・団体からの役員等の推薦依頼
・県地域リハビリテーション推進会議委員／県健康福祉部認知症対策・地域ケア推進課
松岡　拓治　常務理事　任期：平成24月３月15日～平成26年３月14日
・生活保護医療扶助業務に従事する歯科嘱託医／県健康福祉部社会福祉課
西野　隆一　監事　任期：平成24年４月１日～平成25年３月31日

３．70才の終身会員
○堤　　直文　会員（熊本市）昭17年01月18日
○元島　博信　会員（熊本市）昭16年04月20日
○青山　雅子　会員（熊本市）昭16年12月12日
○河上　　正　会員（熊本市）昭16年08月04日

○髙水間　潤　会員(山鹿市)昭17年01月05日
○坂井　　満　会員(八　代)昭16年05月23日
○武末　憲一　会員(人吉市)昭16年04月26日
○中原　孝典　会員(球磨郡)昭16年05月25日
○渋谷　征機　会員(天草郡市)昭17年02月10日
○藤本　　豊　会員(天草郡市)昭17年03月01日

4．80才の終身会員（本会会費・負担金免除、日歯福祉共済負担金・納付義務修了）

○野村　雄幸　会員(熊本市)昭６年11月01日
○森　　一　会員(宇土郡市)昭６年11月01日
○北田賢次郎　会員(玉名郡市)昭６年10月06日
○中川　博公　会員(菊池郡市)昭６年06月05日

5．平成23年度がん征圧推進協力会員の募集
法人会員として、３口15,000円を納付する。

6．第30回日本顎咬合学会学術大会プログラムパンフレットの送付
依頼を承諾し、２月15日の全会員発送時に同封した。

7．事業企画
○学術委員会：「歯周病と全身の関わり講演会」（５月27日）

8．事業実施報告
○センター・介護委員会：「介護者歯科実技研修会」（１月14日・15日）

9．各会計１月末現況

10．３月行事予定

11．その他
○日歯災害コーディネーター研修会が、24年度より全国７地区で実施されることとなり、九州地区では福岡県において７月下旬に開催予定である。
○24年度診療報酬改定において、日常よく行われる診療行為に対する点数が引き上げられている。
○日歯の方に、国民生活センターより「歯科インプラント治療に係る問題」についての要望がなされ、都道府県歯会等の医療相談窓口との連携を強化して患者への情報提供等に適切に対応する旨の回答がなされている。
○２月29日（水）の未入会者対象の県歯事業内容説明会には、６名が参加予定である。

協　議：

1．平成24年度予算案〔承認〕
①熊本県歯科医師会口腔保健センター会計収入支出予算（案）
②一般会計熊本県歯科医師会会計収入支出予算（案）
③熊本県歯科医師会収入支出予算（案）
口腔保健センター機器購入に対する日本財団の補助の対応が難しく、修正した予算案を提出した。修正案を承認し、３月の通常代議員会・通常総会に議事として提出することとした。

2．一般社団法人移行に伴う代議員会制選択〔承認〕
原案どおり承認し、３月の通常代議員会・通常総会に議事として提出することとした。

3．熊本市政令指定都市移行による住所表示変更のための定款・規則・学則の一部改正（案）〔承認〕
原案どおり承認し、３月の通常代議員会に議事として提出することとした。定款については、通常総会にも議事として提出することとした。

4．熊本県歯科医師会共済互助規則一部改正（案）〔承認〕
原案どおり承認し、３月の通常代議員会に議事として提出することとした。

5．平成23年度通常代議員会・通常総会日程資料並びに当日の運営〔承認〕
資料については一部修正し、他に追加・訂正があれば事務局まで連絡することとした。
当日の運営については、原案通り承認した。

6．くまもと歯の健康文化賞（基金）委員会規程一部改正（案）〔承認〕
原案どおり承認した。

7．第65回九州歯科医学大会に招聘する来賓〔承認〕
県知事、熊本市長を来賓として招聘することとした。さらに、くまモンにも出動を要請することとした。

8．全国学校歯科医協議会における知事・市長の招聘〔承認〕
県知事、県教育長、熊本市長を来賓として招聘することとした。

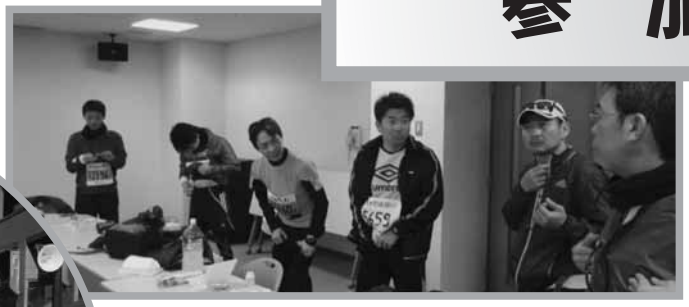
9．平成23年度青色申告決算書の提出依頼の対象者の抽出〔継続〕
日歯へ確認したところ20名程度の協力でよいとのことであり、本会役員・委員から対象者を抽出し、次回理事会で選定することとした。

10．その他
○渡辺専務理事より、24年度に実施予定の「くま歯キャラバン隊」について講演メニューの確認と講演内容の検討依頼が行われた。
３月の通常代議員会時には、各郡市へ概要を説明する。
○牛島理事より、安心・安全歯科医療推進制度について、基準達成期間も残り１ヶ月程度となったので、会員の先生方が日歯Ｅシステムによる積極的な単位取得と基準達成証獲得が出来るよう協力依頼があった。
○理事の時間として、大林理事、宮坂副会長より、各郡市におけるフッ化物洗口の現状について説明が行われた。

監事講評：片山監事、西野監事
閉　　会：小島副会長

（広報　加藤　久雄）

第１回 熊本城
参　加　者



会館に集合する熊歯会
「歯知ろう会」の精鋭たち

スタート地点

時折サロンパス臭がする中
寒さをガマンして待ちます

ゴールした瞬間、体に満ち満ちた感情は達成感にも勝る感謝の気持ちであった。膝の炎症で練習を頓挫せざるをえなかったため20キロからは未知の世界であったが、その経験がその先を走れる喜びとなり大きな力を発揮し、またこれから先の体の変化に対する好奇心が不安を勝り、ゴールまで歩かず楽しく走り終えることができた。しかし沿道の心のこもった励ましがなければこんなにも爽やかなゴールを迎えることはできなかったと思う。35キロ過ぎで「元気をもらった、ありがとう」と声を掛けられた時は、走ることで元気を与えることもできるのだと感動を覚えた。温かい気持ちの行き来が私の背中を力強く押し続け、そして体の一部一部が本当によく働いてくれた。最後の坂にも負けない脚力がここまで育ってくれたこと、丈夫な心臓を授かったこと、こんなにも自分の体に敬意を払ったのは初めてのことだ。やる前から諦めずに挑戦してよかった。　　（事務局　吉川　祐香）

Fブロックよりスタート
する会員

マラソン
全員完走！

5km地点

平成大橋が人でうまる

角岡会員による勇壮な応援

故障者が増え救護所は応急処置やテーピングで大賑わい。

20km地点

2月19日気温2℃晴れの大会当日を迎えた。早起きして不安な膝にテーピングを施す。陸上経験のある患者さんに「馬油とサロメチールを混ぜて手足に塗りこむ。」ということを聞いていたが、後の事を考慮して軟膏のみとした。最近テーピングは伸縮性があるものがあり巻き易い。準備万端！「歯知ろう会」は会館集合して準備運動後に通町筋へ移動、指定されたグリッドに並ぶ。冷やかな空気と緊張感で包まれて号砲を待つ。スタート！練習を思い出し、飛び出す他のランナーのペースに惑わされぬよう自分のペースを刻んで走ることに集中して進んだ。流通大通りのチア応援で足取りも軽く５ｋｍの角岡会員のホラ貝に勇気をもらい先へ進む。川尻では狭い道ながら両脇に応援してくれる方々がビッシリ並びちょっと気恥ずかしい感もあったが声援を受けピッチが上がる。20kmの飽田あたりでは故障者が増え30kmの熊本港線では歩いている人が多い。西大橋上りはまるで「亡者の行進」状態で熾烈を極める。町田会員のオフィスでは参加会員の名が刻まれ元気を取り戻した。また、見知らぬ応援者にチョコや塩を頂きエアサロンパスまで噴きかけて頂いた。本当かな？と思っていたが初マラソンで「応援に後押しされる。」ことが実感できた。37km加藤理事の応援で尻を叩かれゴールを目指す。心配されていた残り2kmの熊本城への上り坂では遂に足が痙攣し出したが、なんとかゴールへたどり着くことが出来た。ベテランランナーより聞いた「一人一走」。一万人ほどの参加であったが、それぞれ想いを込めての参加であったに違いない。

（熊本市　宮田　正孝）

30km地点

粘りのランをみせる栗原会員

午前８時半の集合時には、スタート地点は９千人の参加ランナーが水道町電停から市役所までの電車通りを線路を挟み道路を埋め尽くしていました。スタート順は、事前の完走予想タイム順に分かれていたのですが最後方スタートの私は松野明美選手などのトップランナーのスタートを見物した後、約10分後にスタート地点をゆっくりと通過しました。普段は走れない道路の真ん中を信号も車も気にせず走れるのは、初マラソンの私にとってはとても新鮮で楽しかったです。沿道の応援も大変暖かく、宮本先生、萱野先生はじめ歯科の先生の応援もたくさん頂きました。フルマラソンと申しましても半分過ぎからは歩きましたので遠い遠い散歩でしたが、最後42キロの標識を見た時とゴールが見えた瞬間は、やっと終われるという開放感と共に達成感と満足感がありました。体重80キロ（朝青龍を小さくした体型）の私でもゴール出来ましたので是非参加してみて下さい。

（熊本市　栗原　健一）

３キロ程度の市民マラソン大会ではいつもトップ争いをする！？「高速ランナー??」の自分ですが、フルは過去に数度挑戦し、いずれも20キロ過ぎで足がつり、ひきずり歩きをしながら制限時間ギリギリにやっとこさゴールする「へたれランナー！」です。しかし地元の記念大会で完走メダルがもらえるというご褒美につられて、３年ぶりに懲りずにフルへ参戦致しました。

結果は30キロ過ぎに足がつり（10キロ分成長↑）、やっぱり歩いて遅～い時間にゴール…いや遅くてもいいから最後まで走ってゴールしたかった（泣）。

よかったことはすぐ後ろで太田黒浩一さんがゴールしてきたので、携帯で記念撮影できたこと☆…サインペンもポケットにしのばせてたのですが、それは言いきらんかった（残念）。

もうひとつは応援…知ってる人も知らない人もた～くさんの人達がにぎやかに盛り上げてくれて、とても楽しく走れました。歩きになってからは少し恥ずかしかったですが…。

あと、市歯科医師会のAED自転車部隊の皆さんもお疲れ様でした。そして大変な思いをされたであろう大会関係者の皆さんに感謝申し上げます。で、来年もあるなら今度こそ「真の完走（最後まで走る！）＝へたれランナー卒業」を目指して必ずまた出ますのでよろしくです!!!

（熊本市　金本　良久）

感動のゴール！消耗し尽くして
座り込む方が多い

ゴール

熊本城マラソンにおけるAEDによる支援

— 熊本市歯科医師会 —

２月19日（日）に第１回熊本城マラソンが開催されたが、熊本市歯科医師会もAEDモバイル隊（自転車隊）として大会の支援を行った。歯科医師会からは渡辺猛士会員の呼び掛けにより、11名の会員が参加した。メンバーは、清村正弥会長をはじめ藤波好文副会長、田中弥興会員、渡辺猛士会員、高松尚史会員、村上慶会員、高橋禎会員、鈴木憲久会員、磯野誠一会員、入佐弘介会員、あと私、山口英司であった。

AEDモバイル隊として参加するにあたり、日曜日を利用して数回コースの下見を行ったり、歯科医師会館でBLSヘルスケアプロバイダーマニュアルに基づきAEDの実習を行ったりとしっかり準備を行った。実際にこのような大きなマラソン大会では、CPAが発生することがあるとのことで、実習中は皆さん真剣な眼差しで取り組んでいた。

当日、AEDを赤い専用のリュックに入れて、医療サポート隊の赤いジャンパーを身にまとい、いざ出陣。我々歯科医師会に与えられた任務は、４キロコースのサポートです。11名が等間隔で配置につき、選手が通りすぎたら次のポイントまで先回りして、また選手のサポートです。渡辺猛士会員により考えられた作戦はほぼ完璧で、競技の間は隅から隅まで選手をサポートできたのではないかと思います。最後のご老人（何歳だったかわわかりませんが、92歳の方も参加されていた。）がゴールされるのを確認してホッとしたのもつかの間、今度はフルマラソンのサポートに回りました。隊列を組んでアクアドームまで自転車で移動したあと、２人ずつに分かれて選手のわきを自転車で並走しながらサポートを続けました。心臓破りの熊本西大橋や蓮台寺橋では、モバイル隊員にもAEDが必要かと思われるほどでしたが、何とか最後の福田病院前の関門が閉鎖される15時30分まで、選手を精一杯サポートしました。

４キロコースにもフルマラソンコースにも歯科医師会の会員の方々が参加され、皆さん無事に完走されたそうですが、AED隊も皆さん途中棄権することなく最後まで選手をサポートできました。今回は、CPA・重篤事案が発生することなくホッとしていたところ、皆さんより「AED隊が近くにいるのが分かっているから安心して走れるんだよ」、と声をかけられた時は、本当に参加してよかったと思いました。AED隊からも来年は選手としてフルマラソンに挑戦される方もいらっしゃるみたいですが、私はタイミングが合えばもう一度AED隊として皆さんのサポートができればと思います。

（熊本市　山口　英司）

高齢者の口腔ケアにおける注意点

― 口腔ケアベーシックコース ―

センター・介護委員会

１月14（土）、15日（日）に県歯会館にて「高齢者の口腔ケアについて～口腔ケアベーシックコース～」が行われた。講師として福岡県の原土井病院歯科岩佐康行部長をお迎えし、歯科医師、歯科衛生士等多数の参加者の中行われた。

初日は講義が中心で最初に原土井病院を中心に行われている地域完結型医療の説明があった。実際の福岡東区南部在宅ネットワーク（相互代診）、原土井病院と他医院の連携などについてであった。

各論では口腔の加齢変化と口腔機能

１摂食・嚥下機能の発達

２加齢変化について

１摂食・嚥下機能の発達では、経口摂取準備期、嚥下機能獲得期、捕食機能獲得期、押しつぶし機能獲得期、すりつぶし機能獲得期、自食準備期、手づかみ食べ機能獲得期、食器食べ機能獲得期、それぞれのステージでおこる運動や発達不全による症状の説明があった。また喉頭や舌、咽頭などの解剖学的な特徴をレントゲンやMRIの画像を交えながら行われた。

２加齢変化では、歯の喪失、口唇・舌頬などの機能低下や唾液分泌の減少により様々なトラブルが起こること、すなわち齲蝕、歯周病、義歯不適、口臭など日常的なものから、誤嚥性肺炎など命に係わるものまであった。

また摂食・嚥下障害への歯科的な対応としてPLP（軟口蓋挙上装置）やPAP（舌接触補助床）の利用や口腔ケアの重要性についても説明があった。

摂食嚥下格ステージごとの症状を説明

２日目は講義と実習が行われた。まず摂食嚥下リハの流れとして、１）誤嚥を疑わせる所見、症状、２）問診、スクリーニング検査、３）専門的検査（精密検査）、４）訓練計画～GOALと訓練内容～、５）訓練実施、６）再評価、GOALの見直し、７）GOALからフォローアップへ、の７段階のステップで行うこと、またLEOPOLDの摂食・嚥下運動の分類（先行期、準備期、口腔期、咽頭期、食道期）のそれぞれのチェックポイントの説明があった。

その後、実際に受講者がペアになり水のみテストやフードテストを行った。臨床の場において高齢者のどこに注意すべきかということが理解でき、大変有意義な実習であった。

講演後、受講生からの多くの質問があり、関係者の高齢者のケアに対する関心の高さがうかがえた。

（センター・介護　五島　嘉人）

魅了された321名

― 第17回 熊本県歯科医学大会 ―

学術委員会

２月５日（日）午前10時より、県歯会館４Ｆ大ホールにて第17回熊本県歯科医学大会が開催された。今大会のコンセプトは日常臨床でのチームワークの充実であり、Dr DH Dtのトップフロンティアーである３人の土屋氏を講師としてお招きした。まず浦田会長より挨拶があり、第１部は土屋賢司氏（東京都開業）より「包括的治療戦略～成功へ導くためのチームワーク作り～」の演題で歯科医師の観点から、クリニックはメンタリティー、アクティビティー、ホスピタリティーの三位一体で成立し、一人の患者さんに携わるスタッフそれぞれの個人が対等な立場でディスカッションが必要であるとした。審美修復を行う上でオプション、ホワイトニング、コンポジットレジン充填、セラミック修復、矯正、ボンディングレストレーション等一連の流れを踏まえて考える事が重要で特に今回セラミックラミネートベニアを中心にレクチャーされた。歯牙歯列単味ではなく顔貌全体からの調和のとれた歯列の読み、硬軟両組織のコントロール及びマテリアルのマネージメント、天然歯との強度類似性、ボンディングシステムの向上、エナメルボンディングの信用性、適応症の視点からセラミックラミネートベニア法のアドバンテージ、ディスアドバンテージについて総合的に考える事が大切とした。途中、土屋和子氏より長期経過したベニアケースの舌側のケアについての説明があり、メンテナンスとは得られた健康を維持するものであり、ソニックブラシの有用性を示された。続いてプレパレーションについて歯牙各パートのリダクション量、審美的要求によるマージンの設定、殊にエナメル質を残す事の重要性について述べられた。また今後の展望として、マイクロデンティストロジー、CAD／CAMテクノロジーについて触れられ、将来、マテリアル、メソッドは変化しても、歯科医師の診断力、選択力、予知性のコントロール力の必要性は変化しないとした。

知る人ぞ知る３名の土屋氏

第２部は歯科衛生士の土屋和子氏により「ペリオマネージメント」のテーマで、洒脱なオープニングミュージックとイメージにのって３題のテーマを柱として講演された。

１）咀嚼とバランス

生体構造において筋肉を支えるのは骨格であり（バランス＝シンメトリー）、骨格のゆがみは生活習慣に依存していることを認識すべきである。顎口腔系に目を向けると咀嚼運動は顎だけで行われるものではなく、咀嚼筋の緊張は咬合高径に依存し、歯科治療により安定した咬合を得ることで、健康な口腔機能系を得ることができ、上部呼吸器系にまで好影響を及ぼしたケースを提示された。

２）生体は補綴をどう受け入れるか。

歯周組織の解剖、病理を踏まえ、生物学的幅径やサブジンジバルカントゥアなど、補綴物が備えるべき要件を満たせば生体は補綴物を受け入れることを示し、修復の各ステージでこれらに配慮が必要である。また除石後のガムマッサージが有効で、加水分解コンキオリン含有のコンクールリペリオは、歯周組織の血流を増加させる。プロービングは天然歯では組織の破壊量を知り、インプラント部に

ついては炎症の有無を知るものであると述べられた。またオベートポンティックを使用したメリーランドブリッジのケースでは、歯間ブラシの使用と歯間空隙の過形成は無関係で歯槽骨頂とコンタクトポイントとの距離に支配されており、プロビジョナルの重要性を訴え補綴は生体機能の復元であると説いた。

3）ペリオマネージメント

歯周組織系の細菌学的解説に加え、歯周病の循環器系、呼吸器系等全身への影響について示し、PG菌の特性、子宮から発見されたことにより、早産、低体重児出産、糖尿病への影響についても述べられた。歯周病は人類でもっとも感染者数の多い感染症（ギネスワールドレコード）であることに言及され、さらに歯周病を一般の人たちに解りやすく伝える為に中等度～重度の歯周病は手のひらサイズの炎症であることを強調すると良い。また歯周病は侵襲性歯周炎と慢性歯周炎に分類され、侵襲性歯周炎については更に限局型・広汎型に分類される。限局型はメカニカルストレスの関与があり、広汎型では、鬱病、体重減少、倦怠感の所見がみられ、鑑別に血液検査が有用であると述べられた。

第３部は歯科技工士の土屋覚氏により「チームアプローチ～デンタルテクニシャンとして～」のテーマで講演が行われた。最初に自身のエピソード、山崎長郎氏とレイモンドキム氏との出会いから話され、患者さん満足度を知り高める上で、現場の重要性、オフィステクニシャンであることを再確認した旨を述べられた。続いてユニディシプリナリー、マルチディシプリナリー、インターディシプリナリーについて言及され、歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士の三者の密なコミュニケーションの重要性をチェアサイドで起こったエピソードを交えながら述べられた。ついでクルーコーディネーションについて、他分野の各プロ担当技術者が気づかないことを指摘する密なディスカッションを行う事が結果に大きな影響を与える。またチームリーダーの要件として、①豊富な経験②的確なエンドポイントの把握③メンバーの本音を引き出せる事が必要であると述べられた。続いてセラミックラミネートベニア製作手順としてスキップモデルメソッドを提示され、種々の審美材料の強度等の考察を述べられた。今回の講演会はそれ自体が、ソフィスティケートされた３人のインターディシプリナリーなもので、321名の聴講者を魅了した。歯科医師もさらに研鑽を積み、コデンタルとお互いに敬意を払い、力を合わせて目の前の患者と歯科疾患に対峙すべきであると痛感させられた。

（学術　馬場　一英）

お知らせ

点数改定説明会

本年４月から実施されます診療報酬改定に伴う説明会を、下記のとおり九州厚生局と共同で開催いたします。

記

日　時　平成24年３月27日（火）　午後７時～（受付は午後６時～）
場　所　グランメッセ熊本（上益城郡益城町福富1010　TEL096-286-8000）

（社会保険委員会）

学院だより

47期生　自作の言葉を歌いあげる

― 戴帽式 ―

１月28日（土）に熊本歯科衛生士専門学院47期生の戴帽式が、県歯会館４階大ホールにおいて、浦田会長らの多数の来賓、ご家族、保護者の方々、在校生らの見守る中、おごそかに執り行われた。

戴帽式は、医療現場での臨床実習を控えた歯科衛生士を目指す学生の活躍を祈念して実施されるものであり、学生一人一人にキャップを与え、歯科衛生士を目指すものとしての職業に対する意識を高め、またその責任の重さを自覚させるための儀式である。我が国では、大正５年、聖路加病院高等看護学院で初めて行われたのが始まりだといわれている。

伊藤学院長からナースキャップをつけてもらった戴帽生は、それぞれが両手に持つ燭台のろうそくにナイチンゲール像から灯りを受け取った。キャッピングを終えた47期生は、そのキャンドルの明かりの中で、誓いの言葉を高らかに歌い上げた。

その誓いの言葉は47期生全員で作ったものである。

私達は、常に初心を忘れず、口腔保健の専門家として正しい知識、技術を身につけるよう、日々努力します。

ろうそくの光に誓いを込めて

緊張のキャッピング

私達は、笑顔を忘れず、患者に寄り添う歯科衛生士を目指します。

私達は、全人的な歯科医療の提供ができるよう、人間性の向上に努めます。

私達は、周りの方々へ感謝の気持ちを忘れず、仲間と助け合い、勇気をもって自分の学んだことを実行します。

この言葉を胸に抱き、47期生は臨床実習へと向かうことになる。臨床実習を担当される診療所の歯科医師と歯科衛生士の方々には、お忙しい日々の診療のさなかではあるが、これらの歯科衛生士の卵たちの臨床への気持ちをおおきく育てていただくことを期待したい。

47期生の皆様には次の言葉を贈りたい。

臨床現場では、実践的な知識と技術に加えて、それに血を通わせる思いやりの心が必要である。誰とでも、どんな状況でも、自分の言葉で語り、相手の心の痛みを感じ取り、人と接する力を養っていただきたい。

臨床実習を通じて、47期生の成長を願いこの稿を終える。

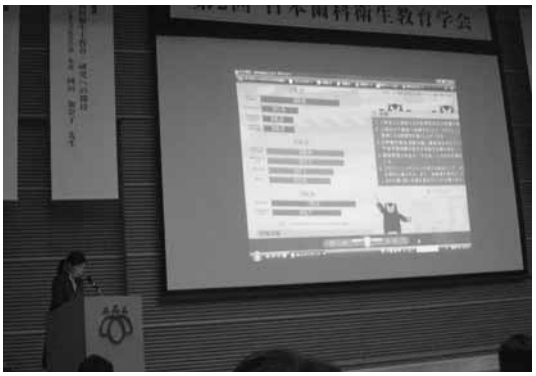
（学院　松岡　拓治）

学院だより

らせん型プロフェッショナリズム教育への取り組みと評価

― 第２回日本歯科衛生教育学会 ―

昨年12月３日（土）、４日（日）鶴見大学会館で第２回日本歯科衛生教育学会が開催され、全国から352名の教員が、本学院からは逢坂副学院長、西口・植村専任教員が参加した。本学院は昨年度に引き続き、学生教育についての成果を発表したので、私、西口がその要旨を以下に記す。



演題「本学院におけるらせん型プロフェッショナリズム教育への取り組みと評価」

発表要旨

【目的】

近年、患者や医療者双方の考え方の変化から、医療を取り巻く環境はますます厳しくなっている。このような時代を生き抜き、より良い患者―医療者関係を構築するには、医療者がプロフェッショナリズムを持つことが必要である。本学院では入学前から医療専門職としてのプロフェッショナリズムを修得させるために、自律性を養うことに重点をおき、繰り返し方略を変えて徐々に成長を促す、らせん型教育に取り組んでいる。そこで歯科衛生士への意識が各学年でどのように変化しているのか、また、意識変化に影響を与えた教育内容を振り返り、それを改善するため本調査を行った。

【対象と方法】

対象は平成23年度本学院在学生、１年生49名、２年生52名、３年生51名、計152名。夏期休暇前の８月中旬に実施。回答率は98.0%であった。方法は無記名方式のアンケートとし、学年が判別できるようにした。質問項目は13項目とし、その内から歯科衛生士を目指した理由、歯科衛生士になるにあたっての現在の意識、やる気を引き出したきっかけの取り組みの３項目について評価した。また、プロフェッショナリズムの定義にもとづき、各取り組みを７項目に分類し比較検討した。（図１）

【結果】

歯科衛生士を目指した理由は、「家族・周囲の人の勧め」が49.7%、「自分の意思」46.3%でほぼ同じ割合となった。

やる気が出ている学生の割合は１年生33.3%から３年生56.0%へ増加し、やる気が無い学生の割合は１年生10.4%から３年生2.0%となり減少した。

１年次では、『歯科医学的知識』、『コミュニケーション技術』、『人間性』の育成に重点をおいた教育を実施し、学生のやる気を引き出した取り組みは「上級生との合同実習」68.8%、「臨床見学実習」31.3%、「自衛隊隊内生活体験」・「基礎実技確認試験」各26.3%であった。

２年次では、『倫理的および法的解釈』、『卓越性』の育成に重点をおいた教育を実施し、学生のやる気を引き出した取り組みは「幼稚園口腔衛生指導」68.4%、「解剖学見学実習」67.7%、「臨床実習」57.1%、「戴帽式」53.6%であった。また、『人間性の育成』においては「専任教員との個別面談」が高い値

を示した。

3年次では、『臨床能力（医学的知識）』、『コミュニケーション技術』、『倫理的および法的解釈』、『卓越性』、『人間性』、『説明責任』、『利他主義』の全ての育成に重点をおいた教育を実施し、学生のやる気を引き出した取り組みは「臨床実習」75.0%、「保護者対面実習」60.7%であった。

【考察】以下の3つが必要であると考えられる。

1．1年生は上級生からの教育的対応の影響が高く、また、上級生は下級生へ指導することでプロフェッションに向けた自律性を養うことができると思われる。相互に影響を与える教育内容の充実。

2．地域と関わる公衆歯科衛生活動は、終了後に強い達成感を与えていることから、今後学習体験の拡大と学生主体の地域活動を推進する。

3．臨床実習は学生のやる気に大きな影響を与えているが、患者への直接対面実習は様々な課題があるため、プロフェッショナリズムを考える機会として「保護者対面実習」を2年次から導入し、また映画等を教育素材として活用しながら、繰り返し学習を進める。

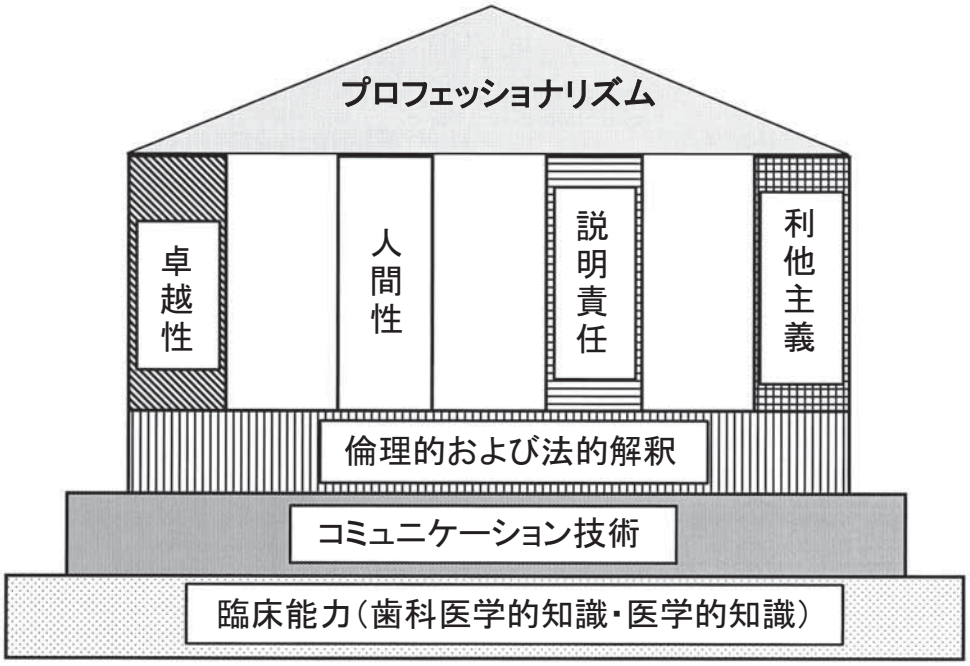


図1　プロフェッショナリズムの定義

1）浅井篤ほか：白衣のポケットの中―医師のプロフェッショナリズムを考える，第1版，医学書院，東京，5，2009．を一部改編し引用

（学院課　専任教員　西口　真美）

第1回会員親睦マージャン大会開催さる

１月24日（土）午後３時より熊本市新市街「ブルードラゴン」において、第１回会員親睦マージャン大会が会員の健康増進ならびに相互交流・親睦を目的とし、36名の参加で開催された。競技は４人制、半荘３回の個人戦で行った。
各郡市のマージャン愛好家たちが日頃の腕前を発揮され、真剣な中にも和気あいあいとした大変楽しいひと時となった。紅一点参加の元島渥子会員は日頃より麻雀教室に通っているということで、店員さんからも「とても綺麗なマージャンを打たれますね。」と評され、その腕前を存分に発揮されていた。

帰り際に店長さんから「皆さん和やかな目をされていますね、とても楽しそうでいい雰囲気でしたね。」といううれしい言葉もいただいた。競技終了後は近くの居酒屋で懇親会を開き更なる親睦を深めた。その後再度雀荘へ向かった方々もいたようだった。

第１回大会の覇者は北克巳会員

お店も歓迎の横断幕を作ってくれた

【第１回会員親睦マージャン大会成績表】

優　勝	北　　克巳	熊 本 市
準優勝	若槻　正幸	八　　代
３位	三笘　　司	熊 本 市
４位	吉永誠一郎	熊 本 市
５位	北田賢次郎	玉名郡市
６位	奈良　健一	熊 本 市
７位	與儀　実彦	熊 本 市
８位	田中　文丸	荒 尾 市
９位	春野　惟一	玉名郡市
10位	蔵田　幸一	熊 本 市
11位	大林　裕明	玉名郡市
12位	岡田　知久	熊 本 市
13位	上田　　博	八　　代
14位	福嶋　修治	荒 尾 市
15位	中野　敬輔	宇土郡市
16位	合沢　康生	熊 本 市
17位	上田　　忠	八　　代
18位	森　　隆文	玉名郡市

19位	元島　渥子	熊 本 市
20位	田中　弥興	熊 本 市
21位	岩崎　晃司	八　　代
22位	菊竹　茂人	人 吉 市
23位	田畑　祐亮	荒 尾 市
24位	田上　大輔	阿蘇郡市
25位	川原　雄次	八　　代
26位	柿原　　訓	熊 本 市
27位	上原　凡由	熊 本 市
28位	太田　良生	球 磨 郡
29位	島崎　　清	玉名郡市
30位	南　　裕之	熊 本 市
31位	岡﨑　信也	熊 本 市
32位	永田　英樹	水俣･芦北
33位	田ノ上　輝	熊 本 市
34位	田中　栄一	宇土郡市
Ｂ．Ｂ．賞	井尾　治雄	熊 本 市
敢闘賞	坂田　輝之	荒 尾 市

（世話人会　渡辺　賢治）

郡市会だより

立法・行政・三師会の連携の大切さを確認

― 総会及び新年会 ―

１月14日（土）、山鹿市歯科医師会総会及び新年会が山鹿市の寿三ホテルで行われた。

総会において、県歯から宮坂副会長・八木常務理事が出席、県歯科医師会の法人制度改革やその進捗状況、総会制と代議員会制の違いや役員の任期などの説明があった。

新年会では、中嶋憲正山鹿市長、幸村克典郡市医師会副会長、江上祥一山鹿・植木地区薬剤師会会長、坂本哲志衆議院議員、渕上陽一、早田順一県議会議員、横田啓介山鹿市議会議長が来賓として参加された。また植木地区の旧鹿本郡市歯科医師会の会員の方々もおいでになり懐かしい新年会となった。県歯会長の、「一昨年の条例制定につづき昨年の国会での法案成立と、歯科においての法整備にこぎつける事が出来た。今後も全身疾患と歯科との関連から、生活の質の向上を目指した医療を目標に邁進していきたい。さらなる郡市会の協力を願います。」との挨拶を宮坂副会長が代読した。各来賓もそれぞれ歯科医師会のますますの発展を願う挨拶をされた。横田市議会議長の乾杯ののち歓談にうつり、やはり昨年起きた震災の話題が多かったように思われた。

祝宴を前に挨拶に聞き入る

議員、医師会、薬剤師会、行政との連携を確認しつつ、木庭副会長の閉会の辞をもって新年会を終えた。

（小林　　聡）

山鹿

社保の留意点と医院経営について

― 患者満足度向上のための取り組み ―

１月21日（土）、山鹿市歯科医師会にて県歯中嶋敬介副会長による講演会が行われた。

まずは、山鹿市歯科医師会の会員からのレセプト請求の質問に対しての解説が行われた。レントゲンの点数、有床義歯、歯冠修復、ＳＰＴについて等ていねいに解り易く解説して頂いた。「なぜこの診療行為が必要なのか？」と疑問を持たれそうな時にはレセプト摘要欄を充分に活用し、必要性の理由等を書くように指導して頂いた。

次に、中嶋歯科医院の開院時から現在に至るまでの患者満足度向上の為の取り組みについて講演が行われた。患者さんのクレームをもとに、ハード面とソフト面を改良されて来たそうだ。ハード面とは、建物や設備の改良を指す。患者さんに優しいように建物、駐車場、待合室、診察室に改良を行って来たとのことだった。特に患者さんの靴や傘の取り違えがないように細心の注意を払うようなシステムが構築されている所はすごいと思った。

ソフト面とは、接遇の事を指す。患者さんが不快に思わないような受付の電話対応やDH、DAの対応を心がけていらっしゃるとのことだった。たまに抜き打ちで、中嶋先生が患者さんのふりをして中嶋歯科医院に電話をすることがあるという徹底ぶりだ。特に言葉使いに気を付け、また、お金のやりとりにも細心の注意を払っているとのことだった。

今年も和気あいあいと

患者さんから支持される医院になる為には、技術はもちろんであるが、医院の雰囲気を良くし、言葉使いを考え、気配りをあらゆる所に行い、歯科医師とスタッフの関係を良好に保ち、クレーム時の対応を俊敏かつ的確に行う事が必要である。何よりも患者さんに対して熱い気持ちで接するという事に尽きるという事であった。

この講演会を聞いて、今日からでも患者さんの為に出来ることを少しづつでも改良していこうと思った。

（小林　　聡）

郡市会だより

新しいスタート

菊池

— 新年会 —

1月14日(土)熊本市「瑞恵」において菊地郡市歯科医師会新年会が催された。荒木会長の今年1年の大きな流れを述べられ、次に来賓の県歯浦田会長・坂本哲衆議院議員にご挨拶をいただき、その後、委員会報告として城会員より歯周病と糖尿病モデル事業についての説明、広報委員会より菊歯だよりの原稿依頼等の報告があり、工藤晃正会員の乾杯の音頭により新年会が始まった。美味しい料理・お酒がふるまわれる中、会は和やかに進んで行き、最後に昨年末入会された新入会員の藤田・高山・伊藤会員の今後歯科医師会活動に対する心強いお言葉を頂き、高木副会長の閉会の辞で盛会に幕を閉じた。

和やかな雰囲気の新年会

（田中　弥信）

今年一年の活力に

水俣・芦北

— 新年会 —

1月20日（金）午後7時より、水俣芦北郡市歯科医師会新年会が水俣の居酒屋「がんぞー」で開催された。

当日はとても寒い中、会員と家族で14名の出席があった。

まず、若江秀敏会長の新年の挨拶に続き、乾杯の準備が出来るまで会員一人ひとりに今年の抱負や近況について語ってもらった。昨年同様、健康への思いが強く、ストレス解消、ダイエット、趣味のスポーツについて述べる会員が多かった。準備が整った所で井上真樹会員の乾杯のご発声で祝宴が始まった。

居酒屋かんぞーは水俣では新鮮な魚介類を使った料理が美味しくて安いと評判の店である。その美味しい料理に舌鼓を打ちながら酒を酌み交わし、家族の近況や政治、経済、話題のニュース等について楽しく語り合った。酒も進み皆さんほろ酔い加減となった頃、浮池高史会員の周りでは笑いが絶えず、歯に衣着せぬストレートな言い回しの浮池節で大いに盛り上がっていた。

今年も健康で頑張ろう

予定していた3時間もすぐに来てしまい、会員の絆をより深め、今年一年の活力となる楽しい新年会になった。

最後に今年度の皆様の健康とご多幸を願い、出来田悌吾会員の元気な締めの言葉でお開きとなった。

（鬼塚　友文）

郡市会だより

今年は趣向を変えて

— 新年会 —

人吉

寒さが深まる小寒すぎの１月13日（金）人吉市にあるOLD STYLE AMERICAN HOT ROD BARにて新年会が行われた。

今藤会長の年頭の挨拶では、今後の歯科界に希望多き年となるようにと祈念された。那須会員の乾杯の挨拶の後に、武末憲一会員の熊本県警察功労者表彰、竹田会員の傘寿、入江会員の古希、武末和貴会員の古希、のお祝いが催され、今藤会長から祝辞と目録が渡された。今回は、花田会員の企画でクーキーブーズと言う名前のロカビリーバンドによる、エルビスプレスリーの曲のカバーが披露され、お祝いの会員に花を添えた。

今年ものってイコー！

（瀬戸　雄行）

今年は災害のない年に

— 新年会 —

玉名

１月27日（金）午後６時30分から、司ロイヤルホテルにて、玉名郡市歯科医師会新年会が開催された。

犬束専務理事の司会で会は粛々と進行した。開会に続き、冨永玉名郡市会長、浦田県歯会長、築森玉名市副市長、松野信夫参議院議員、森浩二県会議員より挨拶を頂いた。冨永会長は昨年度を振り返り、東日本大震災、消費税増税、小中学校でフッ化物洗口を実施している玉東町の成人式健診、「熊本県歯および口腔の健康づくり推進条例」がほとんど進展していない現状などを話された。浦田会長より、今年熊本県担当で学会を開くため、玉名郡市会員への協力のお願いがあった。

築森玉名市副市長より、昨今の金融不安、新幹線の利用状況などの話があった。又噛むことや食のあり方などを通じて、玉名市民の健康増進に取り組んでほしいとの依頼があった。松野信夫参議院議員は、今年は災害のない年にしたい、１日も早い復興を目指してやりたい、国政は社会保障と税の改革をしたいなど話された。森浩二県会議員はフッ化物洗口があまり普及していないので、一緒に頑張っていきましょうと挨拶された。

よい年となることを願って

平山玉名郡市医師会長の乾杯の音頭で楽しい会食が始まり、厚生委員会によるビンゴ大会等があった。最後に荒尾市歯科医師会福嶋会長の締めでお開きとなり、良い年となることを全会員で願った。

（永廣　有伸）

郡市会だより

多くの来賓でにぎやかに

— 新年会 —

阿蘇

1月19日（木）午後7時から、阿蘇市内牧の阿蘇プラザホテルで新年会が開催された。

田代正博会員は、日本歯科医師会会長賞を受賞され、来賓の堤泰宏県議、藤本康子阿蘇郡市医師会会長、中村　稔阿蘇郡市薬剤師会会長、浦田健二県歯会長が田代会員の功績を称え、祝辞を述べられた。新年会には、宮坂圭太県歯副会長、渡辺賢治専務理事も出席され、新たな一年のスタートとなった。

気持ちを新たに

（桑田　和明）

明るい一年になるように

— 新年会 —

球磨

1月28日（土）午後6時30分より人吉市伽草子にて球磨郡歯科医師会会員（数名の欠席有り）と3名のゲスト参加で球磨郡歯科医師会新年会が開催された。

稲留裕士理事の司会により初めに球磨郡歯科医師会秋山喬会長が

「新年おめでとうございます。昨年は大震災に津波・原発事故と大変な一年でしたが今年は点数改正のアップも少しは期待出来明るい兆しが表れています。皆さんにとって明るい一年になるように祈念するとともに各人の努力を期待します。」と挨拶の後中原孝典会員（めでたく本年開業40年をお迎えになる）の乾杯の挨拶、音頭により歓談に移った。

球磨郡歯科医師会各人の近況報告や情報交換に楽しい時を過ごし又、職域の異なるゲストとの交歓も例年同様活発に行われた。歓談

新年の挨拶をされる秋山会長

途中には秋山会長の歯科界の問題提起（医科と歯科の初診料再診料の格差について）等もあり有意義であった。約2時間余りの歓談も佳境にさしかかり酔いも回って宴もたけなわではあったが球磨郡歯科医師会梁瑞峰副会長の閉会の辞と恒例の一本締めにより盛会の内に終了した。

（高野　秀司）

郡市会だより

激動の歴史と偉大な自然の共存する街、鹿児島

― 研修旅行 ―

荒尾

1月28日（土）午後から29日（日）までの1日半を利用し、鹿児島への研修旅行を実施した。新玉名駅に集合した会員は、九州新幹線を利用し一路鹿児島中央へ向かった。熊本乗り換えであったがそれでも1時間18分という数年前までは考えられない早さでの到着には会員一同、驚きの様子であった。

さて鹿児島市内は予報では午前中であがると言っていた小雨が降り続いており、そのような中「維新ふるさと館」「城山展望台」「磯庭園」と巡り、個人的には大河ドラマでしか知らなかった幕末の薩摩藩の活躍を垣間見ること知ることができ、なぜ幕末に関心を持つ歴史ファンが多いかも理解できた様な気がした。

自然の偉大なパワー

夜は「熊襲亭」という黒豚しゃぶしゃぶ専門店での懇親会の後、ホテル直行組、軽く二次会組、天文館堪能組とに分かれて各々鹿児島の夜を満喫した。

翌日は快晴に恵まれ、朝からフェリーで桜島に渡り、桜島周遊観光を行った。記録的な小規模噴火を繰り返していると聞いてはいたが、リアルタイムに、しかも真近で噴火を目撃すると、自然の偉大なパワーの前に人間はなすすべはないが、その中で生命財産を守りながら生活し、自然の力を有効利用していくことがこれからの時代も、いかに大切なことか感じ取ることができた。

それから再び市内に戻り「かごしま水族館」を見学の後、帰路についた。

最後に鹿児島県の再認識と会員相互の親睦を深めることができた、いい1日半であった。昨年度まで厚生を担当し、会員の多くが参加したいと思う企画の難しさを承知している分、参加されない会員にいかに研修旅行の良さを伝えていけるか今後の課題である。

（坂田　輝之）

訃　　報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

麻生　博信 先生
平成24年２月22日　ご逝去　83歳

- 郡　市　名：阿蘇郡市
- 入会年月日：昭和26年９月20日

ニューグルメハンター

焼鳥 呑みてい nomitei

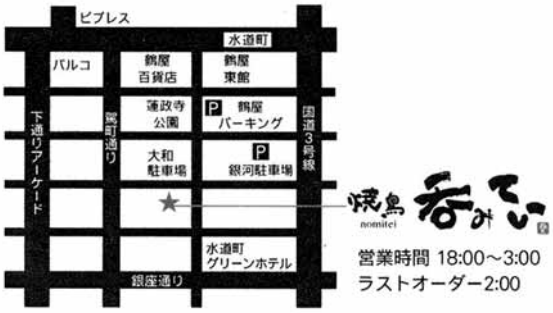
○所在地
〒860-0802
熊本市中央街1-10　ハラダビル　２F
☎096-323-8090
18：00～翌３：00（月～木　１：00）

○店の雰囲気、客層
サラリーマン、OLさんが中心です。

○収容人数・席数
21席（テーブル４席×２・２席×１
カウンター11席）

○店長の紹介
料理ひとすじの料理人です。先日おかげさまで開店１周年をむかえました。

○料理の種類・特徴・お酒の種類
焼鳥・刺身・郷土料理。備長炭で丁寧に焼きあげた「ハツ」は絶品。
飲み放題付コース3500円より。



本の紹介

歯科医師会からの提言

「食べる　生きる力を支える」

歯科医師から見えてきた社会の在り方を問う書籍を中央公論新社より刊行することとなりました。

高齢者の健康や医療、食といのちの在り方、地域社会の在り方を様々な対談を中心にまとめました。どうぞご高覧ください。

第一刊　「生活の医療」（２月25日刊行予定）

超高齢社会を迎えたわが国の医療はどうあるべきか。そこから見える医療の在り方を問う。

第二刊　「いのちと食」（６月刊行予定）

生きることは食べること。この「いのち」を繋ぐ食の意味や在り方を問う。

第三刊　「３・11の記録」（４月刊行予定）

未曾有の大震災の中で、死者の身元確認や被災者の健康支援への歯科医師の活動を通して見えてきた危機への備えと震災後の地域の在り方を問う。

会　務　報　告

自　平成24年１月23日
至　平成24年２月19日

所管	日付	摘要	出席
総　務	１月23日	8020支援事業・学齢期歯科保健研修会（八代地区）（やつしろハーモニーホール） 受講者39名	中川八代歯会会長、鶴田会員
	24日	第７回新法人設立検討臨時委員会	牛島委員長他３委員
		県プライマリ・ケア研究会世話人会	浦田会長、小島副会長
	25日	第２回県歯科技工士国家試験委員会（県庁）	松岡常務理事、牛島・椿理事、添島委員長
		県へき地保健医療対策に関する協議会（熊本テルサ）	椿理事
		第11回理事会 （１）新入会員の承認（２）平成24年度年間行事予定 （３）第77回全国学校歯科保健研究大会の開催期日場所　ほか	浦田会長他全役員、伊藤学院長
	26日	健康スポーツ歯科全国指導者講習会（日歯会館）	牛島理事
		第40回九州地方社会保険医療協議会熊本部会（熊本市国際交流会館）	中嶋副会長
		第３回県社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会保健福祉推進部会（ホテル熊本テルサ）	小島副会長
		県角膜・腎臓バンク協会臨時評議員会（熊本赤十字病院）	浦田会長
		第５回県社会福祉審議会身体障害者福祉専門分科会審査部会（県庁）	小島副会長
	27日	玉名郡市歯会新年会（司ロイヤルホテル）	浦田会長、渡辺専務理事
	28日	公益法人制度改革説明会・意見交換会	浦田会長、渡辺専務理事、八木常務理事
		熊本市歯会新年懇親パーティー（ホテルニュースカイ）	浦田会長、小島副会長、渡辺専務理事、澤田事務局長
	30日	県医療政策課との打合せ（県庁） 次年度の事業計画 県庁出席者：野白課長補佐、緒方参事	宮坂副会長
	31日	8020支援事業・学齢期歯科保健研修会（人吉・球磨地区）（人吉カルチャーパレス） 受講者：90名	大林理事、秋山球磨郡歯会会長
	２月１日	第21回常務理事会 （１）九地連協議会の各県提出協議題の回答（２）一般社団法人移行に伴う代議員制選択 （３）通常代議員会・総会の日程資料並びに当日の運営　ほか	浦田会長他常務理事以上全役員、牛島理事
	２日	県学校保健会総務委員会（県庁）	浦田会長
		第２回県保健医療推進協議会計画検討専門委員会（水前寺共済会館）	渡辺専務理事
		熊日新聞社による取材 （１）熊日新聞社・文化生活部による取材対応	宮坂副会長、加藤理事
	６日	ねんりんピック2011熊本実行委員会第４回総会（熊本テルサ）	澤田事務局長
	７日	日本政策金融公庫・中村常務理事来館	浦田会長
		会計打合せ 平成24年度新基準予算書	渡辺専務理事、八木常務理事、吉永会計士
	９日	県立総合体育館専用使用調整確認会議（県立総合体育館）	澤田事務局長他１名
	10日	第８回新法人設立検討臨時委員会	牛島委員長他全委員
	11日	「歯科口腔保健の推進に関する法律」成立式典及び国民向けシンポジウム （東京国際フォーラム）	浦田会長
	13日	本会事業・会計監査 Ｈ24．１月末現況監査	浦田会長、渡辺専務理事、八木常務理事、片山・西野監事、吉永会計士
	14日	県老人クラブ連合会第２回健康・生きがいづくり支援事業推進委員会（県総合福祉センター）	宮坂副会長
		損保ジャパンとの懇談会（熊本市）	浦田会長、中嶋副会長、渡辺専務理事、八木常務理事、牛島理事、澤田事務局長
	15日	第22回常務理事会 （１）平成24年度予算案（２）一般社団法人移行に伴う代議員会制選択（３）通常代議員会・総会の協議事項の配布資料　ほか	浦田会長他常務理事以上全役員、牛島理事
	17日	8020支援事業・学齢期歯科保健研修会（荒尾・玉名地区）（荒尾シティーホール）	大林理事、福嶋荒尾市歯会会長、田畑会員
		第65回九州歯科医学大会第１回実行委員会	浦田会長他小島副会長を除く理事以上全役員
	18日	九州各県会長会議（鹿児島・城山観光ホテル）	浦田会長
		九地連協議会（鹿児島・城山観光ホテル）	浦田会長、中嶋副会長、渡辺専務理事、八木常務理事、澤田事務局長
	19日	九州各県事務局長連絡会（鹿児島県歯会館）	澤田事務局長
学　術	１月24日	県医療・保健・福祉連携学会第５回企画委員会	小島副会長
	２月５日	第17回熊本県歯科医学大会 受講者：321名 講師：土屋歯科クリニック院長　土屋賢司先生（東京都）、歯科技工士 土屋覚先生（東京都）、歯科衛生士　土屋和子先生（東京都）	浦田会長、小島副会長、椿理事、添島委員長他全委員
	９日	学術・社保・センター介護合同講演会打合会	松本・椿理事、田中社保委員長、我那覇会員
	10日	学術委員会 （１）熊本県医療・保健・福祉連携学会出務者（２）日歯周病と全身疾患の講演会 （３）パネル作成　ほか	椿理事、添島委員長他６委員
	19日	学術・社保・センター介護合同講演会（訪問歯科） 受講者：157名 講師：阿蘇きずな歯科医院長　我那覇生純先生（阿蘇郡市会員）	小島副会長、渡辺専務理事、前田・松本・椿理事、添島・田中委員長他５委員

所管	日付	摘要	出席
社会保険	1月25日	保険個別指導（県青年会館）	反後副委員長
	28日	社会保険委員会 （1）会員向け発行物（2）個別指導立会い・個別相談会 （3）保険診療ハンドブック　ほか	中嶋副会長、勇常務理事、前田理事、田中委員長他10委員
	2月4日	レセプト事前チェックセンター 相談者：5名（来館・3名、電話・2名）	前田理事、清水副委員長
	13日	社会保険個別相談会（天草市） 相談者：1名	中嶋副会長、
	15日	社会保険個別相談会（天草市） 相談者：1名	中嶋副会長
	16日	保険個別指導（県庁）	清水・渡辺副委員長、金本委員
	17日	九州厚生局との打合せ	中嶋副会長
	19日	レセック説明会	前田理事、田中委員長
地域保健	1月27日	地域保健委員会 （1）8020支援事業（2）早産予防モデル事業（3）各郡市地域保健担当者会	宮坂副会長、田上理事、川瀬委員長他全委員
	2月2日	日本銀行熊本支店事業所健診（日本銀行熊本支店） 受診者：17名	忽那博雅・嶋田英敏会員
	18日	県糖尿病対策推進会議実務者研修会（玉名郡市医師会館）	犬束美尚会員
広　報	1月23日	広報小委員会 （1）会報2月号・第1回校正	加藤理事、佐藤委員長他2委員
	30日	広報小委員会 （1）会報2月号・第2回校正	加藤理事、佐藤副委員長他1委員
	2月15日	広報委員会 （1）会報3月号・編集	加藤理事、佐藤委員長他全委員
学校歯科	1月31日	学校歯科委員会 （1）skype会議（2）第62回全国学校歯科医協議会 （3）各地域学校歯科担当者並びに歯科衛生士会･行政との「フッ化物洗口」連絡協議会　ほか	渡辺専務理事、大林理事、河原委員長他全委員
	2月8日	熊本小児保健研究会（熊本市医師会館）	大林理事
		日学歯加盟団体長会（日歯会館）	浦田会長
	9日	第62回全国学校保健研究大会第3回準備委員会（県庁）	澤田事務局長
	16日	県ＰＴＡ災害見舞金安全会判定審査委員会（県総合福祉センター）	西野監事
	17日	県高等学校保健会第3回理事会（熊本高校）	宮坂副会長
	18日	各地域学校歯科担当者並びに歯科衛生士会、県行政との「フッ化物洗口」についての連絡協議会 行政：4名　衛生士会：16名	小島・宮坂副会長、大林理事、河原・川瀬委員長他10委員
医療対策	1月27日	医療対策小委員会 事例分類仕分け	冨屋理事、岡田委員長他1委員
	2月1日	医療相談 紛争事例についての協議	冨屋理事、永松副委員長
	15日	医療対策小委員会 （1）事故事例のまとめ（2）紛争事例の対応についての協議	冨屋理事、永松副委員長
センター･介護	1月26日	障がい児（者）歯科口腔ケア地域リーダー育成事業打合せ パンフレット作成、校正	松岡常務理事、松本理事、平井委員長他1委員
	31日	口腔保健センターカルテ・会計チェック	五島委員
	2月7日	センター・介護小委員会 4月からの口腔センターシフト決め	宮坂副会長、松本理事、平井委員長他1委員
	14日	口腔保健センター視察（口腔保健センター） 県医療政策課より水谷審議員、緒方参事	澤田事務局長他1名
総務･厚生	2月4日	総務・厚生委員会 （1）代診派遣制度（2）くま歯キャラバン隊MENU（3）大規模災害時のマニュアル	八木常務理事、牛島理事、池嶋委員長他全委員
学　院	1月23日	学院運営審議会	浦田会長、伊藤学院長他8委員
	28日	学院戴帽式	伊藤学院長、浦田会長、小島副会長他委員
	2月4日	学院一般一次・社会人入学試験（学院校舎） 受験者：10名	伊藤学院長他1名
	8日	学院入学試験委員会	伊藤学院長他6委員
	10日	学院一般一次・社会人入学試験合格者発表（学院校舎） 合格者：9名	
国保組合	1月26日	第7回国保理事会 （1）規約の一部改正案（2）平成23年度補正予算案（3）平成24年度事業計画案　ほか	浦田理事長他全役員
	2月9日	全協事務（局）長研修会（全国町村会館）	田代主任
	10日	国保組合監査	桑田常務理事、原田・西野監事
		第8回国保理事会 （1）規約の一部改正案（2）平成23年度通常組合会	浦田理事長を除く全役員

事業課からのご案内

その1

団体定期（歯科医師会専用グループ保険）のご案内

保険期間　平成23年8月1日から1年間（中途加入できます）

★最高「２８００万円」保障！無診査で加入 OK！
★配偶者も１０００万円まで加入 OK！
★１年更新で配当金は加入者へ還元！
★個人保険より団体保険が安い！
★入院保障も１日１５,０００円まで OK！

団体定期保険は歯科医師会が契約者になり保険料を一括納付しています。
会員だけがいつでも自由に加入できる制度です。**是非ご加入下さい！**

その2

個人でご加入の保険も保険料納付は団体収納扱いでお願いします!

下記の保険会社と団体収納契約をしておりますので、歯科医師会の口座引落しがご利用できます。
保険料が団体割引でお安くなります。ご加入の保険内容に影響はありません。
手続きは簡単です。事務局が代行します。**是非ご利用下さい！**

かんぽ生命	第一生命	住友生命
日本生命	T&D フィナンシャル生命	明治安田生命
朝日生命	富国生命	アメリカンファミリー生命
メットライフアリコ	損保ジャパンひまわり生命	三井生命

＊詳細につきましては　県歯事務局 TEL:096-343-8020 担当　田尻　までご連絡ください

ExcelAid

歯周病・糖尿病の予防の第一歩　歯科医・医師に診てもらいましょう！

おくちの健康はからだの健康の源

通院重視
医療保険

おくちとからだの保険

●歯周病は、歯周病菌によって歯周組織が壊され、歯が抜ける原因となる慢性感染症です。
●周病の悪化は、全身疾患に影響を及ぼし、また、血糖コントロールを阻害し糖尿病・合併症を加速させます！

歯周病により リスクが高くなる病気

糖尿病、心筋梗塞、脳梗塞、
口腔がん、感染性心内膜炎、
誤嚥性肺炎、骨粗しょう症、早産、低体重児出産・・・

●加入年齢：0歳3ヵ月−満89歳　●診査：告知（無審査）　●保険期間：1年の更新型

■持病がない方へ

歯周病の予防を願う
PERIO DiaCare 80
べりお DC
歯周病保障付普通医療保険2010／歯周病保障付通院特約2010

給付金総額
1保険期間（毎年）
800,000円限度

おくちは健康のみなもと　エクセルエイド
治療しよう
歯周病

契約日以後発症、発生の歯周病、他の病気、ケガの入院、手術、通院の保障・・・契約日前発症の歯周病の部位は2年経過後保障します。

通院

○退院後通院（1入院）：2,000円×10日限度
○**歯周病治療通院**：2,000円×10日限度
（治療開始日120日以内）

手術

○手術：入院中5万円・入院外2.5万円（60日に1回）
○**歯周病手術**：健保適用外の組織再生・
インプラント2.5万円×2回限度（120日に1回）

入院

○入院：1日目から、5,000円（1入院60日限度）
○新たな入院：さらに60日適用の長期的入院保障

■歯周病、糖尿病（合併症含む）の治療中の方へ

おくちは健康のみなもと　エクセルエイド
治療しよう
歯周病

エクセルエイド
治療しよう
糖尿病

糖尿病・歯周病の悪化予防を願う
PERIO Diabetes 80
べりお DM
歯周病保障付糖尿病有病者向け医療保険2010／歯周病保障付糖尿病有病者向け通院特約2010

給付金総額
1保険期間（毎年）
800,000円限度

契約日前発症の歯周病、糖尿病（合併症含む）のほか、契約日以後発症、発生の他の病気、ケガの入院、手術、通院の保障・・・1型・2型糖尿病のタイプを問いません。

通院

○退院後通院（1入院）：2,000円×10日限度
○**歯周病治療通院**：2,000円×10日限度
（治療開始日120日以内）
○糖尿病治療通院：2,000円×10日限度
（1保険期間）

手術

○手術：入院中5万円・入院外2.5万円（60日に1回）
○**歯周病手術**：健保適用外の組織再生・
インプラント2.5万円×2回限度（120日に1回）

入院

○入院：1日目から、5,000円（1入院60日限度）
○新たな入院：さらに60日適用の長期的入院保障

初年度契約に限り、ケガを除き、60日の免責期間があります。この広告は商品の概要を説明しています。必ず、「パンフレット」・「約款」・「重要事項説明書」をご覧ください。E12-0315-AD1

エクセルエイド少額短期保険株式会社　関東財務局長（少額短期保険）第3号　エクセルエイド　検索
〒104-0061東京都中央区銀座1-19-14　お客様相談室　0120-307-133　URL:http://www.excelaid.co.jp

4 行事予定

4日（水）	第１回常務理事会
10日（火）	学院入学式
18日（水）	第２回常務理事会
25日（水）	第１回理事会

熊本県ご当地よ坊さん

編集後記

48歳で初マラソン完走（熊本城マラソン）

練習では30㎞で足が動かなくなり潰れてしまった経験と未だ40㎞は踏んだことの無い不安な状態で本番を迎えた。30㎞まではスピードを抑えて進む作戦で臨みます。

やはり20㎞過ぎる頃には足を引きずるランナーが増え、30㎞過ぎではほとんどが歩いている過酷な状況です。そんな中、力を溜めていた私は羽がついたように走りだし生まれてこの方太っちょで運動会が苦手なコノ私が他のランナーを抜き去る快感を味わう事が出来ました。確かに身体には相当負荷がかかり苦しいですが、そんな楽しい事も経験できました。一人では10㎞以上の練習は辛いです。皆で話しながら走ると不思議と意外な距離まで進んでいることがあります。

10㎏体重減、費用もさほど掛かりません。

どうです、皆さんも熊歯陸上部（仮称）に入って来年あたりチャレンジしてみますか!?　（M.M）

くまもとサプライズキャラクター『くまモン』
くまもとサプライズ熊本県許可第1086号

8020 歯からはじめる。笑顔ヘルC

発行日／2012年３月15日発行
発行人／浦田　健二
発行所／社団法人　熊本県歯科医師会　〒860-0863 熊本市坪井2丁目4-15
TEL.096-343-8020　FAX.096-343-0623
URL http://www.kuma8020.com
印刷所／コロニー印刷